

令和3年度

虹の坂通信



呉市立昭和南小学校
学校通信第24号
令和3年12月1日

えがおがいっぱい

先週、「南っ子探検集会」を行いました。代表委員会で話し合ってから、5・6年生が委員会ごとに、楽しいコーナーを準備してくれました。

始まりの式は体育館で行いました。全員が体育館に集まるのは久しぶりでした。始まりまで静かに待っていることができるのは南小の子どもたちのよいところです。

縦割り班で各コーナーを楽しんで回りました。5・6年生は、前半・後半に分かれてコーナーのお世話をしてくれました。「イントロクイズ」「ジェスチャーあて」「栄養クイズ」「宝探し」など、どのコーナーも工夫されていて、子どもたちの笑顔でいっぱいでした。特に、コロナの中で入学してきた1・2年生にとっては、みんなで楽しむ経験が少なく申し分けなく思っていました。学校で楽しい経験をもっともってほしいと思います。

5・6年生さん、楽しい探検集会をありがとう。

できるよろこび

5年生が、呉市のふるさと文化探訪で「大和ミュージアム」に見学に行きました。4年・6年も計画があったのですが、丁度、第5波の中で中止になりました。校庭から大型バスで出発する時、バスの中の5年生が見送りの先生たちに嬉しそうに手を振っていました。野外活動や社会見学が無くなり、みんなでバスで出かけるのは2年ぶりになるのでしょうか。それだけ、わくわくしていたのだと思います。

4年生は、総合の学習で、郷土料理の「八寸」を作りました。学校で調理をするのも久しぶりのことです。例年ならば、地域の女性会の方の指導を受けながら作るのですが、今回は、昭和中央小の森川栄養教諭さんと、数名の保護者の方に手伝っていただきました。ブリも肉も入れず、野菜と昆布だけでしたが、十分おいしい「八寸」ができました。子どもたちは、包丁を上手に使っていました。

このように感染予防をしながらでも、これまで当たり前の活動がまたできるようになってきたことを素直に喜びたいと思います。



全員で始まりの会



工夫されたコーナー



呉の歴史を学ぶ(5年)



焼山の味八寸(4年)